

日本経済政策学会ニューズレター

NO.23 2009

目次

- ◎ 会長挨拶
- ◎ 日本経済政策学会総会議事録
- ◎ 学会役員
- ◎ 会員状況
- ◎ 平成 20 年度決算書
- ◎ 平成 21 年度予算書
- ◎ 本部会務報告
- ◎ 各代会報告
- ◎ 全国常務理事会報告
- ◎ 委員会報告
- ◎ 2009 年度学会賞
- ◎ 国際会議(2009 度)開催記録
- ◎ 全国大会・国際会議(2010 年度)のご案内
- ◎ 「学会賞」選考について
- ◎ その他(本部事務局からのお願い)
- ◎ 日本経済政策学会本部・部会事務局連絡先

ごあいさつ

松本保美

まず、今回のニューズレターのお届けが大変遅れてしまったことを深くお詫び申し上げます。第 8 回国際会議(国立大学財務経営センター、東京竹橋、2009 年 11 月 28、29 日)の準備が大幅に遅れていたことが、開催 1 カ月前に判明し、学会の国際的信用失墜の危機に直面したため、急遽、本部、国際交流委員会を中心に体制の立て直しを図り、何とか予定通り開催にこぎつけました。この間、多くの会員諸兄姉から多大なご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。様々な問題点、改善点が明らかになりましたが、今回の危機を教訓として、改善を図っていく所存です。皆様の一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて、この一年間、第 7 回国際会議を同志社大学で、また、第 66 回全国大会を東北学院大学で、それぞれ開催することが出来ました。これもひとえに、学会員諸兄姉、および、開催校関係者のご尽力によるものであります。心より御礼申し上げます。

同志社大学における国際会議では約 20 カ国から 150 名余りの参加者を得、活発な意見の交換が見られました。また、東北学院大学における全国大会は、東北・北海道地区では 38 年ぶりということもあり、地元自治体、メディアからの協力もあり、参加者に新鮮な印象を与えました。

当学会は、こうした一定の成果を挙げる一方、様々な問題も抱えています。

まず、昨今の不況の影響で、会員が学会を厳しく選別するようになりました。特に当学会の場合はカヴァーする領域が広いため、学会サービスの焦点がぼやけ、学会の魅力が薄

れていくという弱点があります。一方で、全国大会、国際会議、経済政策ジャーナル、IJEPS間の連携がなかなかうまくいかないという問題もあります。そのため、残念ながら、退会者の数が最近やや目立つようになりました。

以上の背景には会員に対する学会サービスの不足という問題があります。そこで、①学会のホームページの改定、②メールによる会員サービスを行うことにしました。①は、見易いこと、必要な情報が簡単に得られることがポイントで、今回の改定もここに焦点を合わせています。(システム的には、ホームページのプログラムを構造化プログラムに変更したため、今後、事務局が移転しても改定や追加・削除が簡単にできるようになりました。)②は月1回程度、学会からの連絡事項、大会・国際会議案内などをメールで各会員に配信します。(今回の国際会議のトラブルで遅れておりますが、出来るだけ早く実施したいと考えております。)こうして、まず、会員全員が、当学会のホームページに頻繁にアクセスする習慣を身につけるようになることを、私の残された任期の仕事にしたいと考えております。

日本経済政策学会総会議事録

日 時： 2009年5月30日 13:00～13:50

場 所： 東北学院大学土樋キャンパス

1. 大会校 挨拶

第66回大会の開催校を代表して小柴徹修大会運営委員長代行より挨拶があった。

2. 総会議長の選出

総会議長に佐々木實雄副会長を選出した。

3. 報告事項

(1) 本部会務報告

1. 会員状況 (4. 協議事項 (1)会員状況 参照)
2. 学会ニューズレターNo.22 発行
3. 平成20年度常務理事会(平成20年9月13日 於 早稲田大学)
4. 第7回国際会議 (平成20年12月6-7日 於 同志社大学)
業務完了報告書(2009年1月20日)(省略)

(2) 各部会報告

関東部会平成20年度部会報告

(1) 常務理事・幹事会

日時:平成 21 年 1 月 24 日(土)10:30～12:30

場所:中央大学駿河台記念館 3 階 310 号室

(2) 研究報告会

日時:平成 21 年 1 月 24 日(土)13:00～16:40

場所:中央大学駿河台記念館 3 階 330 号室

(以下敬称略)

13:00-14:40 セッション 1

共通テーマ「経済政策における戦略論」

座長:原田 博夫(専修大学)

13:00-13:50 第一報告:「ソーシャル・キャピタルの潜在力を探る」

報告者:稲葉 陽二(日本大学)

討論者:上沼 正明(早稲田大学)

13:50-14:40 第二報告:「地方分権・道州制論にみる戦略性の濃淡」

報告者:西川 雅史(青山学院大学)

討論者:持田 信樹(東京大学)

14:40-15:00 コーヒーブレイク

15:00-16:40 セッション 2 自由論題

座長:佐々木 實雄(日本大学)

15:00-15:50 第一報告:「介護市場の形成と療養病床の再編」

報告者:須田 茂夫(警視庁)

討論者:塚原 康博(明治大学)

15:50-16:40 第二報告:「リスクと責任保険の効果」

報告者:桑名 謹三(環境自治体会議環境政策研究所)

討論者:荒木 一法(早稲田大学)

(3) 平成 21 年度 常務理事・幹事会及び研究報告会のご案内

日時:平成 22 年 1 月下旬

場所:中央大学駿河台記念館(予定)

(横山 彰 記)

中部部会平成 20 年度部会報告

1. 工場見学会

日時 :平成 20 年 10 月 31 日(金) 13:30 ～ 16:00

見学先 :日本車輛製造株式会社 豊川製作所

2. 研究報告会

日時 :平成 20 年 11 月 1 日(土) 10:20 ～ 17:00

場所 :名古屋市立大学 山の畑キャンパス

[午前の部] 座長 角本 伸晃(相山女学園大学)

研究報告① 10:20 ～ 11:10

論題 :土壌汚染対策の現状と実効性のある土壌汚染対策法のあり方

報告者:濱谷 幸子(三重県桑名農政環境事務所環境室), 荒山 裕行(名古屋大学)

討論者:中山 徳良(名古屋市立大学)

研究報告② 11:10 ～ 12:00

論題 :韓国の再生可能電力普及政策の展開と課題ー日本の RPS 制度との比較を題材としてー

報告者:李 秀澈(名城大学)

討論者:木船 久雄(名古屋学院大学)

[午後の部] 座長 村瀬 英彰(名古屋市立大学)

研究報告③ 14:00 ～ 14:50

論題 :Capital Accumulation and Social Welfare in Fiscal Federalism and the Unitary System

報告者:Wempi Saputra(名古屋大学大学院)

討論者:川端 康(三重大学)

研究報告④ 14:50 ～ 15:40

論題 :Leviathan under the Tax Competition Model -User Fee or Capital Tax?-

報告者:Song Kosal(名古屋大学大学院)

討論者:渡邊 隆俊(愛知学院大学)

招待講演 16:10 ～ 17:00

論題 :名古屋市における公立病院の現状と改革、その役割について

講演者:澤野 孝一郎(名古屋市立大学)

3. 会員総会

研究報告会午後の部開始前(13:20 ～ 14:00)

議事:

1)平成 20 年度収支決算書(案)について

2)平成 21 年度予算書(案)について

3)平成 21 年度地方大会開催校について

4)平成 24 年全国大会開催校について

審議の結果,平成 20 年度収支決算書(案)および平成 21 年度予算書(案)を了承. また,平成 21 年度
の中部地方大会および平成 24 年全国大会の開催校については, 部会長一任となった.

(事務局注:その後,平成 21 年度中部地方大会は金沢大学,平成 24 年全国大会は椋山女学園大学で
の開催となった.)

4. 常務理事・理事・幹事会

1)日時:平成 20 年 8 月 31 日(土) 13:30~14:30

場所:愛知学院大学楠元キャンパス

議事:平成 20 年度中部地方大会について

2)日時:平成 20 年 10 月 4 日(土) 13:30~15:00

場所:愛知学院大学大学院栄サテライトセンター

議事:平成 20 年度中部地方大会について

3)日時:平成 20 年 11 月 1 日(土) 13:20~13:40

場所:名古屋市立大学山の畑キャンパス

議事:平成 20 年度収支決算書(案)について

平成 21 年度予算書(案)について

平成 21 年度地方大会開催校について

(酒井 邦雄 記)

関西部会平成 20 年度部会報告

1. 関西部会 2008 年度研究大会

日 時:平成 21 年 3 月 28 日(土) 10:30~16:00

会 場:岡山商科大学津島京町キャンパス 7号館711番教室

大会実行委員長:喜田 栄次郎 理事

出席者:31 名

今回の研究大会開催にあたっては、喜田栄次郎理事及び岡山商科大学の会員各位に大変お世話
になったことに対して、この場を借りてお礼申し上げる次第である。当日の座長、報告者、報告論題、及
び、討論者は次の通りである。

午前の部 座長 福田 亘(岡山商科大学)

第1報告 平野 吉子(大阪府立大学経済学研究科)

「歯並びの歯科矯正治療への医療保険適用検討—健全な永久歯列をめざした予防的医療のマイクロ分析—」

討論者 大西 秀典(尾道大学)

第2報告 鄒 暁凡(兵庫県立大学経済学研究科)

「企業組織における信頼と生産性」

討論者 松岡 憲司(龍谷大学)

午後の部 座長 丸谷 冷史(京都産業大学)

第3報告 石原 敬子(兵庫大学)

「競争原理を活かす制度設計と独占問題」

討論者 土井 教之(関西学院大学)

第4報告 姜 紅祥(龍谷大学経済学研究科)

「中国の「走出去」政策と中国企業の対外直接投資—技術獲得の視点から—」

討論者 張 星源(岡山大学)

第5報告 本田 光(広島大学社会科学部)

「耕畜連携型農業による地域再生—社会起業家の非営利ビジネスモデルの視点から—」

討論者 衣笠 智子(神戸大学)

2. 工場見学会

日 時:平成 20 年 11 月 20 日(金)13:30~15:30

見学先:ヤマト運輸関西支社

出席者:6 名

平成 20 年度の工場見学会は、宅配業務の最大手であるヤマト運輸の関西支社を見学した。当日は、その配送センター(「ベース」部分)の高度機能について説明を受けたあと、実際の仕分け現場を見学し、他社にはない先駆的方法を見学することができ、極めて興味深い見学会となった。この見学会でお世話いただいたヤマト運輸関西支社の山下和良様はじめ関係各位、及び、当日の見学会設定の調整役をお引き受けいただいた大阪市立大学の明石芳彦常務理事にこの場を借りてお礼申し上げる次第である。

3. 常務理事・幹事会

(1) 日 時:平成 20 年 9 月 5 日(金)14:00~15:45

場 所:神戸大学貴賓室

議 事:①関西西部会 2008 年度研究大会(岡山商科大学)について

②2008 年度日本経済政策学会国際会議(同志社大学)について

③2009 年度日本経済政策学会全国大会(東北学院大学)について

④2010 年度日本経済政策学会全国大会開催校について

⑤2008 年度関西部会工場見学会について

⑥部会幹事の推薦について

(2) 日 時:平成 21 年 3 月 13 日(金)15:05~16:00

場 所:神戸大学貴賓室

議 事:①関西部会 2008 年度研究大会(岡山商科大学)について

②関西部会 2009 年度研究大会の開催校について

③学会役員の交代について

④2009 年度関西部会工場見学会について

⑤2010 年度日本経済政策学会全国大会(京都産業大学)共通論題について

⑥全国常務理事会(報告)

4. 常務理事・理事・幹事会

日 時:平成 21 年 3 月 28 日(土)12:15~13:25

場 所:岡山商科大学津島京町キャンパス 8 号館 822 番教室

議 事:①関西部会 2008 年度研究大会(岡山商科大学)について

②関西部会 2009 年度研究大会の開催校について

③学会役員の交代について

④2009 年度関西部会工場見学会について

⑤2010 年度日本経済政策学会全国大会(京都産業大学)共通論題について

⑥関西部会 2008 年度会計報告について

(田中 康秀 記)

西日本部会平成 20 年度部会報告

第 81 回(春季)大会 開催日:平成 20 年4月 26 日(土)

(開催校:九州大学・大会運営委員長 三浦功)

常務理事・理事・幹事会および総会議事

(1)平成 19 年度会計報告

(2)第 82 回秋季大会の当番校について

(3)その他

研究報告

【第一報告】座長 今泉 博国(福岡大学)

「広域行政と権限委譲」

報告者 大野 正久(九州大学)

討論者 佐藤 秀樹(九州産業大学)

【第二報告】座長 外間 安益(鹿児島国際大学)

「途上国の工業化類型と発展メカニズム」

報告者 朝元 照雄(九州産業大学)

討論者 宮城 和宏(北九州市立大学)

【第三報告】 座長 古河 幹夫(長崎県立大学)

「International Patterns of Technological Specialization and Industrial Organization:
An Analysis of Patent Statistics」

報告者 宮城 和宏(北九州市立大学)

討論者 水戸 康夫(九州共立大学)

第 82 回(秋季)大会 開催日:平成 20 年 10 月 18 日(土)

(開催校:北九州市立大学・大会運営委員長 宮城和宏)

常務理事・理事・幹事会および総会議事

(1)第 83 回大会(春季)の当番校について

(2)常務理事会報告について

(3)その他

研究会報告

【第一報告】 座長 今泉 博国(福岡大学)

「教育補助金政策と内生的経済成長」

報告者 村田 慶(九州大学大学院)

討論者 二村 博司(広島大学)

【第二報告】 座長 本田 廣實(福岡経済大学)

「汚職防止戦略と組織構造」

報告者 佐藤 秀樹(九州産業大学)

討論者 三浦 功(九州大学)

【第三報告】 座長 内山 敏典(九州産業大学)

「世界遺産による地域振興についての一考察」

報告者 仁部 新一(九州共立大学)

討論者 市川 芳郎(日本文理大学)

(杉野 元亮 記)

(3) 各委員会報告

組織委員会 平成 20 年度活動報告(2008 年 6 月～2009 年 5 月)

組織委員会では、松本会長からの指示を受け、5 つの問題について検討を行った。検討結果は以下の通りである。

規約・制度の改正:5 月の総会(於東北学院大学)において決定された規約の改正一覧

1) 外国会員の入会および会費納入に関する規定の追加

<「日本経済政策学会規則」の修正>

「第6条 会員は会費として毎年4月(5月以後に入会したものに限り入会の時)下記の金額を納めねばならない。」の次に、以下の文を追加。

「外国会員(日本国外の居住を常とする会員)については、これに準じるものとする。」

<「日本経済政策学会会務運営細則に関する覚書」の修正>

覚書「3-6 客員会員」と「3-7 学生会員」の間に新しい「3-7」として、以下を追加する。従来の「3-7」～「3-10」は順次繰り下げ、「3-8」～「3-11」とする。

3-7 外国会員:日本国外に居住する者は、申し出により「外国会員」(日本国外の居住を常とする会員)として会員登録することができる。「外国会員」は、基本的に個人会員に準じるサービス(雑誌提供、学会参加など)を受けることができるが、以下の3つの点で制約を受ける。① 役員の選挙権・被選挙権はない。②部会活動への参加が保証されない。③その他、常務理事会が適当と認めた事項について。また、入会に際しては、通常の会員2名の推薦か、日本語または英語による学歴・研究教育歴・著作論文リストのいずれかを添えて申込書を提出し、常務理事会および総会の承認を得る必要がある。会費(外国会員A)は10,000円または100米ドルとする。ただし平均国民総所得1万米ドル以下の発展途上国・地域の居住者(外国会員B)の会費は5,000円または50米ドルとする。

<「覚書 補足」の修正>

補足5の追加

覚書3-7 外国会員会費の件

発展途上国・地域かどうかは、世界銀行発行のWorld Development Report 最新版(毎年9~10月頃に刊行)の統計に掲載される平均国民総所得のデータをもとに判断する。

なお入会承認後6ヶ月以内または9月末(入会2年度目以降)までに指定口座に入金がない場合は会員資格を失うものとする。また、送金手数料は本人負担、受取銀行手数料は学会負担とする。

2) 役員等(日本経済政策学会会務運営細則に関する覚書でいう「広義の役員」)の補充

<「日本経済政策学会役員選出内規」の修正>

- ・「第4章 理事の選出」のあとに、「第5章 役員等の補充」を入れる。
- ・「第5章 附則」は「第6章 附則」とする。
- ・第18条は廃止する。
- ・「附則」の各条は、「第5章 役員等の補充」の新設により、繰り下がる。

第5章 役員等の欠員補充

第 17 条 常務理事に欠員が生じた場合には、次に開催される常務理事会でその補充について協議する。また、常務理事の所属部会が変更したとしても、引き続き常務理事を続けるものとし、それを理由とした常務理事の交代または補充は行わない。

第 18 条 会計監事に欠員が生じた場合、会長は副会長と協議の上、会計監事の欠員補充を行い、常務理事会、理事会、総会の承認を得るものとする。

第 19 条 理事に欠員が生じた場合には、日本経済政策学会会務運営細則に関する覚書 6-1 により、選出機関（認定機関）が新たな理事を推薦することができる。新理事は、常務理事会、理事会、総会の承認を得るものとする。

第 20 条 各種委員会委員長に欠員が生じた場合には、副委員長が代行する。委員長と副委員長の両方に欠員が生じるなど、会務に著しく支障をきたすと認められるとき、会長は副会長と協議の上、委員および委員長の欠員補充を行い、常務理事会、理事会、総会の承認を得るものとする。

第 21 条 地方部会の代表・本部幹事・部会幹事に欠員が生じた場合には、当該部会事務局からの提案により補充し、次に開催される常務理事会、理事会、総会の承認を得るものとする。

旧「第 5 章 附則」 → 「第 6 章 附則」

旧「第 17 条」 → 第 22 条

旧「第 18 条」 → 廃止

旧「第 19 条」 → 第 23 条

附則（平成 21 年 5 月 30 日）

改正後の日本経済政策学会役員選出内規は平成 21 年 5 月 30 日から施行する。

3) ポスドクに対する対応

< 日本経済政策学会規則の修正 >

「第 6 条の 3.」のあとに以下の「4.」を追加。

4. 準会員 5,000 円

< 附則への追加 >

附則最後に、以下を追加。

附則（平成 21 年 5 月 30 日）

改正後の日本経済政策学会規則は平成 21 年 5 月 30 日から施行する。

< 日本経済政策学会会務運営細則に関する覚書および覚書補足の修正 >

(1) 覚書の「3-7 学生会員」と「3-8 会費滞納」の間に新しい「3-8」として、以下を追加する。従来の「3-8」～「3-10」は順次繰り下げ、「3-9」～「3-11」とする。

3-8 準会員：大学院博士後期課程の修了者または中退者で職に就いていない者（奨学金

受給者は資格を有する)で、かつ、地方部会研究会、全国大会または国際会議で研究発表の意思を有する者は、本会規則第6条4号に規定する準会員となることができる。準会員となることを希望する者は、毎年度、申請書を提出しなければならない。(有資格者の条件、申請書の様式、準会員会費の適用期間、準会員の資格期間については、覚書補足5を参照。)

(2) 覚書の補足4のあとに、「補足5 覚書3-8 準会員資格の件」として、以下を追加する。

準会員の資格は、いわゆるポスドク会員の経済状況を考慮し、当該会員の研究継続意思を支援するために設置される。有資格者の条件、申請書の様式、準会員会費の適用期間、準会員の資格期間は、以下の通りとする。

1. 準会員の資格は、①大学院博士後期課程の修了者または中退者、②職に就いていない者、③経済政策研究の継続意思を持つ者、のすべてを満たす者とする。
2. 申請書には、①大学院博士後期課程の修了または中退の年月日、②職に就いていないこと、③入会時の推薦人のうちの1名または大学院博士課程時の指導教授等の署名・捺印、④発表予定の地方部会研究会・全国大会・国際会議、を必ず盛り込むこと。申請書は、学会ウェブサイトからダウンロードして記入の上、毎年4月末までに(4月末必着)、学会本部へ郵送すること。
3. 準会員の規定が設けられた年度に準会員の資格を得た者は、過去最長3年間に遡って準会員の会費が適用される(学生会員の期間は除く)。
4. 準会員の資格期間は、最長3年間とする。ただし、正規雇用の職に就いた場合には、その就職年度から資格を失うものとする。
5. 準会員であっても、経歴等を書く場合には、会員と記入できる。
6. 準会員は、個人会員と同等のサービスを楽しむことができる。

4) 消息不明会員について

<検討結果>

- (1) 大学院の修了や退学、所属機関の変更や退職、外国人会員の帰国などにより、毎年、会員の消息不明が何件か発生している。そのため、会費支払いやサービス提供が物理的に困難となる事態が生じている。
- (2) 消息不明者については、可能な手段により情報収集を行うこととし、それでも消息不明な場合には一定期間終了後、処理を停止し、返金すべき金額がある場合には学会財政に繰り入れることとする。ただし、後日、消息不明者の消息が判明し、返金要求がなされた場合には、調査の上、適切に対処する。
- (3) 消息不明会員から連絡があった場合には本部事務局において適宜対処することとし、特に規定を設けない。

検討事項 5 委員会の活動期間重複について

(2008年9月13日の全国常務理事会での結論)

特に明確な意見は表明されなかったが、「各委員会委員の半数以上を新委員会に含めることを慣例とする」ことで良いのではないかと、したがってあえて規則や覚書等に記載する必要がないのではないかと、という方向での了解があったように思われる。

(組織委員会としての結論)

実際には会長が原案を作成することになるので、会長が上記の点(「各委員会委員の半数以上を新委員会に含めることを慣例とする」)を踏まえて人選の原案を作成するだけで十分でないかと。したがって、現段階では規則や覚書等への記載を考えない。

以上

出版編集委員会 平成20年度活動報告

1. 経済政策ジャーナルの刊行

第5巻2号(学会特集号)

第6巻1号(査読論文号)

2. 編集委員会査読の状況 (平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

査読論文号(第6巻1号)

投稿総数 20本

新規投稿 17本

再投稿 3本

査読結果返却分 15本 (残り5本は平成21年3月31日現在査読中)

新規投稿13本第1次査読結果 A: 2本、B: 0本、C: 7本、D: 4本、

再査読論文 2本 査読結果 A: 1本、B: 1本、C: 0本、D: 0本

BについてA: 1本

学会特集号(第5巻2号)

投稿総数 24本 簡易査読結果

掲載可 18本

掲載不可 5本

投稿取り下げ 1本

3. 編集委員会 (平成20年5月25日 於関西大学)

1. 新編集体制について

2. その他

(文責:鳥居昭夫)

以上

企画委員会 平成 20 年度活動報告

本企画委員会は 2008 年 4 月～2009 年 3 月の間、以下のような活動を行ったのでここに報告いたします。あわせて決算について報告いたします。

委員の構成： 山田太門委員長、土井教之副委員長、前田章事務局長、宍倉学事務次長

経理： 収入 100,000 円 学会本部より入金(2008 年 6 月 18 日付)

支出 100,000 円 2009 年度へ持ち越し(実質的な支出は無し*)

* 以下に記すように、本年度の委員会は関連する会合に併せて開催したため、会合費や旅費などの諸経費は削減することができた。

会合 1:委員会(2008 年 5 月 25 日 関西大学にて全国大会に併せて開催)

研究開発委員会と共に今後の全国大会テーマの課題について合議した。特に 2009 年度全国大会の進め方について議論した。

会合 2:拡大委員懇談会(2008 年 6 月 26 日 慶應義塾大学にて)

委員長、事務局長および 2009 年度全国大会プログラム委員会委員候補 2 名(駒村先生、小澤先生)を加えて、同大会の進め方について懇談した。特に問題意識、大会テーマと共通論題、小規模討論、トピック案などについて意見交換した。

会合 3:委員会(2008 年 7 月 31 日 慶應義塾大学にてプログラム委員会に併せて開催)

2009 年度全国大会プログラム委員会第一回会合に先立ち、上記懇談会議事について確認、協議した。

会合 4:委員会(2008 年 9 月 13 日 早稲田大学にて常務理事会に併せて開催)

学会常務理事会に併せて、上記全国大会プログラム委員会第一回会合の内容について確認した。

以上

研究開発委員会 平成 20 年度活動報告

(1)第 66 回(2009 年度)全国大会を東北学院大学において開催することが決定された後、企画委員会の山田太門委員長を委員長とする第 66 回全国大会のプログラム委員会が設置され、研究開発委員会の全てのメンバーも委員として加わることになりました。

(2)研究開発委員会のメンバーは、2008 年 7 月開催の第 1 回全国大会プログラム委員会から委員として大会テーマおよび共通論題とプログラム等に関する議論に参加しました。

(3)研究開発委員会は、上記以外の委員会独自の活動として報告すべきことはありません。

4. 協議事項

(1)会長より会員状況について説明があり、これを承認した。(本ニューズレターに記載された数値は、総会以後、本部で改めて調査し、確定したものである。)

(2)平成 19 年度決算の件

荒木一法幹事より、平成 19 年度決算書の説明と、上田良文、黒柳達夫両幹事による監査報告があり、これを承認した。

(3)平成 20 年度予算の件

荒木一法幹事より、平成 20 年度決算書の説明があり、これを承認した。

(4)明年度以降の全国大会の件

会長より、第 66 回全国大会を東北学院大学で開催したい旨の提案があり、これを承認した。次いで、開催校を代表して小柴徹修理事より挨拶があった。なお、会長より、第 67 回、第 68 回の全国大会を、それぞれ、京都産業大学、駒澤大学で開催したい旨の提案があり、これを承認した。

(5)明年度以降の国際会議の件

会長より、第 8 回以降の国際会議を、国立大学財務経営センター(2009 年度;東京竹橋)、早稲田大学(2010 年度)、関西学院大学(2011 年度)において、また、早稲田大学での開催は、米国の学会 Business & Economics Society International (B&ESI)との共催で、開催したい旨の提案があり、これを承認した。

学会役員

[50音順(歴代会長を除く)]

名誉会員・役員

歴代会長

山中篤太郎	(代表 理事)	加藤 寛	(初代 会長)	新野幸次郎	(第二代会長)
藤井 隆	(第三代会長)	柏崎利之輔	(第四代会長)	野尻 武敏	(第五代会長)
植草 益	(第六代会長)	横井 弘美	(第七代会長)	横山 彰	(第八代会長)
丸谷 洽史	(第九代会長)				

名誉会員

植草 益	越後 和典	尾上 久雄	柏崎利之輔	加藤 寛
五井 一雄	小西 唯雄	小松 雅雄	清水 嘉治	施 昭雄
新野 幸次郎	野尻 武敏	野田 稔	野間 俊威	原 豊
藤井 隆	松浦 茂治	横井 弘美	吉田徳三郎	

磯部 喜一	(昭62逝去)	板垣 與一	(平15逝去)	伊東 岱吉	(平8逝去)
伊東 正則	(平18逝去)	梅田 政勝	(昭62逝去)	近江谷幸一	(平17逝去)
加藤 壽延	(平15逝去)	気賀 健三	(平13逝去)	熊谷 尚夫	(平9逝去)
佐藤 芳雄	(平10逝去)	田村 泰夫	(平9逝去)	中村秀一郎	(平19逝去)
藤井 茂	(平12逝去)	藤田 敬三	(昭60逝去)	松尾 弘	(平7逝去)
宮城 辰男	(平15逝去)	本吉 敬治	(平20逝去)	小島 清	(平22逝去)

会 長

松本 保美

副会長

荒山 裕行 佐々木 實雄 神野 直彦

地方部会代表

関東部会	横山 彰	(中央大)	中部部会	酒井 邦雄	(愛知学院大)
関西部会	田中 康秀	(神戸大)	西日本部会	杉野 元亮	(九州共立大)

常務理事

[関東部会]

川野辺裕幸	(東海大)	黒川 和美	(法政大)	佐々木實雄	(日本大)
神野 直彦	(東京大)	谷口 洋志	(中央大)	鳥居 昭夫	(横浜国大)
中村まづる	(青山学院大)	西野 萬里	(明治大)	原田 博夫	(専修大)
松本 保美	(早稲田大)	山田 太門	(慶應義塾大)	横山 彰	(中央大)

(計12名)

[中部部会]

荒山 裕行	(名古屋大)	酒井 邦雄	(愛知学院大)	眞継 隆	(愛知学院大)
-------	--------	-------	---------	------	---------

(計3名)

[関西部会]

明石 芳彦	(大阪市大)	新庄 浩二	(関西学院大)	田中 康秀	(神戸大)
萩尾 千里	(国際会議場)	橋本 昭一	(関西大)	丸谷 洽史	(京都産業大)

(計6名)

[西日本部会]

今泉 博国	(福岡大)	杉野 元亮	(九州共立大)	山本 盤男	(九州産業大)
-------	-------	-------	---------	-------	---------

(計3名)
(合計24名)

会計監事

上田 良文 (広島大) 黒柳 達夫 (福岡大) 前川 俊一 (明海大)
*黒柳達夫先生がご病気の為、前川俊一先生に監事を引き継ぐ。

委員会

組織委員会

委員長 谷口 洋志 副委員長 小林 甲一
事務局長 駒村 康平 事務次長 三浦 功
委員 植村 利男 小林 甲一 箱田 昌平 大城 保
(組織委員会は全国選挙管理委員会を兼ね)

地方選挙管理委員会

関東部会委員長 植村 利男 + 委員(部会幹事)
中部部会委員長 小林 甲一 + 委員(部会幹事)
関西部会委員長 箱田 昌平 + 委員(部会幹事)
西日本部会委員長 大城 保 + 委員(部会幹事)

出版編集委員会

委員長 鳥居 昭夫 副委員長 駿河 輝和
事務局長 千田 亮吉 事務次長 前田 隆

国際交流委員会

委員長 荒山 裕行 副委員長 林 直嗣
事務局長 中村まづる 事務次長 清川 義友

企画委員会

委員長 山田 太門 副委員長 土井 教之
事務局長 前田 章 事務次長 宍倉 学

研究開発委員会

委員長 山本 盤男 副委員長 福重 元嗣
事務局長 瀧澤 弘和 事務次長 千年 篤

学会賞選考委員会

委員長 丸谷 洽史 副委員長 水谷 重秋

理事

(50音順)

〔関東部会〕

浅野 克己 (駒澤大) 飯田 隆雄 (札幌大) 石山 嘉英 (千葉商科大)
井手 秀樹 (慶應義塾大) 岩谷 禎久 (明星大) 江藤 勝 (東京経済大)
大岩雄次郎 (東京国際大) 大島 卓 (城西大) 大野 泰資 (三菱UFJリサーチ & コンサルティング)
大村 達弥 (慶應義塾大) 岡崎 哲郎 (千葉商科大) 岡村 宗二 (大東文化大)
小倉 信次 (千葉商科大) 小澤 太郎 (慶應義塾大) 小野 旭 (労働政策研究 研修機構)
上沼 正明 (早稲田大) 菊地 均 (北海商科大) 熊倉 修 (亜細亜大)
栗林 世 (中央大) 小柴 徹修 (東北学院大) 小林 逸太 (東海大)
島 和俊 (東海大) 關 哲雄 (立正大) 瀬野 隆 (国士舘大)
高田 富夫 (流通経済大) 武田 巧 (明治大) 田中 則仁 (神奈川大)
田中 廣滋 (中央大) 千田 亮吉 (明治大) 寺西 俊一 (一橋大)
東條 隆進 (早稲田大) 徳田 賢二 (専修大) 中野 守 (中央大)
中村まづる (青山学院大) 名取 昭弘 (亜細亜大) 名和 隆央 (立教大)
長谷川啓之 (日本大) 羽田 亨 (関東学園大) 馬場 正弘 (敬愛大)
浜本 光紹 (独協大) 林 直嗣 (法政大) 原田 博夫 (専修大)
水飽揚四郎 (筑波大) 廣瀬 一彦 (拓殖大) 福島 久一 (日本大)
淵上勇次郎 (高崎商科大) 北條 勇作 (高崎経済大) 洞口 治夫 (法政大)
堀 潔 (桜美林大) 前川 俊一 (明海大) 益田 安良 (東洋大)
松原 聡 (東洋大) 三井 逸友 (横浜国立大) 三宅 忠和 (日本大)
武蔵 武彦 (千葉大) 森崎 初男 (関東学院大) 矢坂 雅充 (東京大)
谷沢 弘毅 (札幌学院大) 横倉 尚 (武蔵大) 横山 将義 (早稲田大)
(計60名)

〔中部部会〕

足立 文彦	(金城学院大)	梅下 隆芳	(愛知教育大)	太田 正行	(長野経済短期大)
岡 良浩	(四日市大)	小川 雅人	(福井県立大)	柿内 正徳	(名古屋経済大短大部)
角本 伸晃	(椋山女学園)	小林 甲一	(名古屋学院)	竹内 信仁	(名古屋大)
寺本 博美	(三重中京大)	十名 直喜	(名古屋学院)	中西 克彦	(名古屋外国語大)
長橋 透	(浜松大)	中山 徳良	(名古屋市立)	根津 永二	(愛知学院大)
野方 宏	(静岡大)	前田 隆	(金沢大)	水谷 重秋	(南山大)
皆川 正	(名古屋大)	吉田 雅彦	(愛知学院大)	吉田 良生	(朝日大)
渡辺 悌爾	(三重大)	渡辺 俊三	(名城大)		(計23名)

〔関西部会〕

青野 勝広	(松山大)	井口 富夫	(龍谷大)	伊代田光彦	(桃山学院大)
上田 良文	(広島大)	内山 隆夫	(京都学園大)	太田耕史郎	(広島修道大)
神 隆行	(大阪学院大)	喜田 栄次郎	(岡山商大)	衣笠 達夫	(追手門学院大)
衣本 篁彦	(近畿大)	清川 義友	(同志社大)	黒坂 真	(大阪経済大)
後藤 純一	(神戸大)	桜井 等至	(近畿大)	佐々木雅幸	(大阪市立大)
佐藤 伸明	(神戸学院大)	新庄 浩二	(関西学院大)	菅 準一	(尾道大)
高田 亮爾	(流通科学大)	豊山 宗洋	(大阪商業大)	中尾 武雄	(同志社大)
中野 安雄	(広島経済大)	西田 稔	(関西学院大)	野北 晴子	(広島経済大)
朴 勝俊	(京都産業大)	林田 治男	(大阪産業大)	廣田 俊郎	(関西大)
福田 敏浩	(滋賀大)	前田 章	(京都大)	松川 周二	(立命館大)
松永 宣明	(神戸大)	三谷 直紀	(神戸大)	宮田由紀夫	(大阪府立大)
宮本 勝浩	(関西大)	村上 亨	(追手門学院)	安喜 博彦	(関西大)
山本雄一郎	(兵庫県立大)				(計37名)

〔西日本部会〕

五十嵐副夫	(大分大)	市川 芳郎	(日本文理大)	内山 敏典	(九州産業大)
大城 肇	(琉球大)	黒柳 達夫	(福岡大)	紫藤 義興	(九州共立大)
外間 安益	(鹿児島国際)	高良 有政	(沖縄大)	田中 善典	(中九州短期大)
塚田 広人	(山口大)	朴 哲洙	(熊本学園大)	浜野 崇好	(宮崎公立大)
原田 三喜雄	(西南学院大)	比嘉 堅	(沖縄国際大)	古河 幹夫	(長崎県立大)
本田 廣實	(福岡経済大)	三浦 功	(九州大)	宮城 和宏	(北九州市立大)
宮本 昌典	(福岡大)	山本 盤男	(九州産業大)		(計20名)
					(合計140名)

本部幹事

(50音順)

〔関東部会〕

浅野 清彦	(東海大)	荒木 一法	(早稲田大)	伊藤 公一	(千葉商科大)
稲葉 陽二	(日本大)	植村 利男	(亜細亜大)	大岩雄次郎	(東京国際大)
太田 和博	(専修大)	大村 達彌	(慶應義塾大)	上沼 正明	(早稲田大)
駒村 康平	(慶應義塾大)	千田 亮吉	(明治大)	林 直嗣	(法政大)
福宮 賢一	(明治大)	前川 俊一	(明海大)	藪田 雅弘	(中央大)
					(計15名)

〔中部部会〕

梅下 隆芳	(愛知教育大)	小林 甲一	(名古屋学院)	竹内 信仁	(名古屋大)
水谷 重秋	(南山大)	吉田 良生	(朝日大)	渡辺 悌爾	(三重大)
					(計6名)

〔関西部会〕

上田 良文	(広島大)	清川 義友	(同志社大)	土井 教之	(関西学院大)
永合 位行	(神戸大)	箱田 昌平	(追手門学院)	羽原 敬二	(関西大)
柳川 隆	(神戸大)	吉井 昌彦	(神戸大)		(計8名)

〔西日本部会〕

大城 保	(沖縄国際大)	紫藤 義興	(九州共立大)	外間 安益	(鹿児島国際大)
三浦 功	(九州大)	宮本 昌典	(福岡大)		(計5名)
					(合計34名)

〔中部部会〕

足立 文彦	(金城学院大)	梅下 隆芳	(愛知教育大)	太田 正行	(長野経済短期
岡 良浩	(四日市大)	小川 雅人	(福井県立大)	柿内 正徳	(名古屋経済大短大部)
角本 伸晃	(椋山女学園)	小林 甲一	(名古屋学院)	竹内 信仁	(名古屋大)
寺本 博美	(三重中京大)	十名 直喜	(名古屋学院)	中西 克彦	(名古屋外国語)
長橋 透	(浜松大)	中山 徳良	(名古屋市立)	根津 永二	(愛知学院大)
野方 宏	(静岡大)	前田 隆	(金沢大)	水谷 重秋	(南山大)
皆川 正	(名古屋大)	吉田 雅彦	(愛知学院大)	吉田 良生	(朝日大)
渡辺 悌爾	(三重大)	渡辺 俊三	(名城大)		(計23名)

〔関西部会〕

青野 勝広	(松山大)	井口 富夫	(龍谷大)	伊代田光彦	(桃山学院大)
上田 良文	(広島大)	内山 隆夫	(京都学園大)	太田耕史郎	(広島修道大)
神 隆行	(大阪学院大)	喜田 栄次郎	(岡山商大)	衣笠 達夫	(追手門学院)
衣本 篁彦	(近畿大)	清川 義友	(同志社大)	黒坂 真	(大阪経済大)
後藤 純一	(神戸大)	桜井 等至	(近畿大)	佐々木雅幸	(大阪市立大)
佐藤 伸明	(神戸学院大)	新庄 浩二	(関西学院大)	菅 準一	(尾道大)
高田 亮爾	(流通科学大)	豊山 宗洋	(大阪商業大)	中尾 武雄	(同志社大)
中野 安雄	(広島経済大)	西田 稔	(関西学院大)	野北 晴子	(広島経済大)
朴 勝俊	(京都産業大)	林田 治男	(大阪産業大)	廣田 俊郎	(関西大)
福田 敏浩	(滋賀大)	前田 章	(京都大)	松川 周二	(立命館大)
松永 宣明	(神戸大)	三谷 直紀	(神戸大)	宮田由紀夫	(大阪府立大)
宮本 勝浩	(関西大)	村上 亨	(追手門学院)	安喜 博彦	(関西大)
山本雄一郎	(兵庫県立大)				(計37名)

〔西日本部会〕

五十嵐副夫	(大分大)	市川 芳郎	(日本文理大)	内山 敏典	(九州産業大)
大城 肇	(琉球大)	黒柳 達夫	(福岡大)	紫藤 義興	(九州共立大)
外間 安益	(鹿児島国際)	高良 有政	(沖縄大)	田中 善典	(中九州短期)
塚田 広人	(山口大)	朴 哲洙	(熊本学園大)	浜野 崇好	(宮崎公立大)
原田三喜雄	(西南学院大)	比嘉 堅	(沖縄国際大)	古河 幹夫	(長崎県立大)
本田 廣實	(福岡経済大)	三浦 功	(九州大)	宮城 和宏	(北九州市立)
宮本 昌典	(福岡大)	山本 盤男	(九州産業大)		(計20名)
					(合計140名)

本部幹事

(50音順)

〔関東部会〕

浅野 清彦	(東海大)	荒木 一法	(早稲田大)	伊藤 公一	(千葉商科大)
稲葉 陽二	(日本大)	植村 利男	(亜細亜大)	大岩雄次郎	(東京国際大)
太田 和博	(専修大)	大村 達彌	(慶應義塾大)	上沼 正明	(早稲田大)
駒村 康平	(慶應義塾大)	千田 亮吉	(明治大)	林 直嗣	(法政大)
福宮 賢一	(明治大)	前川 俊一	(明海大)	藪田 雅弘	(中央大)
					(計15名)

〔中部部会〕

梅下 隆芳	(愛知教育大)	小林 甲一	(名古屋学院)	竹内 信仁	(名古屋大)
水谷 重秋	(南山大)	吉田 良生	(朝日大)	渡辺 悌爾	(三重大)
					(計6名)

〔関西部会〕

上田 良文	(広島大)	清川 義友	(同志社大)	土井 教之	(関西学院大)
永合 位行	(神戸大)	箱田 昌平	(追手門学院)	羽原 敬二	(関西大)
柳川 隆	(神戸大)	吉井 昌彦	(神戸大)		(計8名)

〔西日本部会〕

大城 保	(沖縄国際大)	紫藤 義興	(九州共立大)	外間 安益	(鹿児島国際大)
三浦 功	(九州大)	宮本 昌典	(福岡大)		(計5名)
					(合計34名)

部会幹事

(50音順)

〔関東部会〕

飯島 大邦	(中央大)	上村 敏之	(東洋大)	臼井 邦彦	(亜細亜大)
岡崎 哲郎	(千葉商科大)	川崎 一泰	(東海大)	北村 宏隆	(日本大)
瀧澤 弘和	(多摩大)	玉村 雅敏	(慶應義塾大)	千年 篤	(東京農工大)
中村 文隆	(明治大)	林 正義	(一橋大)		(計11名)

〔中部部会〕

李 秀澈	(名城大)	大石 邦弘	(名古屋学院)	鶴田 利恵	(四日市大)
家森 信善	(名古屋大)	渡辺 隆俊	(愛知学院大)		(計5名)

〔関西部会〕

浅田 正雄	(関西大)	厚母 浩	(広島経済大)	内山 隆夫	(京都学園大)
小林 千春	(同志社大)	白川 雄三	(大阪学院大)	駿河 輝和	(神戸大)
藤岡 秀英	(神戸大)	福重 元嗣	(大阪大)	前田 章	(京都大)
					(計9名)

〔西日本部会〕

秋山 優	(九州産業大)	甲斐 明	(九州共立大)	黒柳 達夫	(福岡大)
佐々木正廣	(福岡経済大)	宍倉 学	(長崎大)		(計5名)
					(合計30名)

学術機関活動

1. 日本経済学会連合
2. IFSSO (国際社会科学団体連盟)
ISSC (国際社会科学協議会)

評議員	山田 太門
	田中 康秀
	横井 弘美
シニア	藤井 隆
ボードメンバー	

会 員 状 況

平成21年5月22日現在

		A	B	C	D	E	計
		関東	中部	関西	西日本	海外・その他	
前年度 会員数	個人会員	570	128	337	110	13	1,158
	団体会員	2	1	0	0	0	3
	賛助会員	3	0	2	1	0	6
	計	575	129	339	111	13	1,167
現 会 員	個人会員	544	123	313	104	13	1,097
	団体会員	2	1	0	0	0	3
	賛助会員	3	0	2	1	0	6
	計	549	124	315	105	13	1,106
新 会 員	個人会員	14	6	7	2	0	29
	団体会員	0	0	0	0	0	0
	賛助会員	0	0	0	0	0	0
	計	14	6	7	2	0	29
総計		563	130	322	107	13	1,135

注1 現会員数は前年度会員数から平成20年度中の退会者を減じ、所属変更を加算した数字である。

2. 会員異動

① 訃報

1 岡 本 博 司 (千葉商科大)

(以上1名)

② 退会者

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 1 藪 内 武 司 (岐阜経済大) | 2 寺 町 信 雄 (京都産業大) |
| 3 林 利 基 (関西大) | 4 齊 藤 昊 (愛知学院大) |
| 5 高 橋 望 (関西大) | 6 陳 禮 俊 (山口大) |
| 7 富 田 重 夫 | 8 大 沼 穰 (大手前大) |
| 9 衣 本 篁 彦 (近畿大) | 10 国 本 和 孝 (明治学院大) |
| 11 田 中 真 一 (北九州市立大) | 12 照 内 八 重 子 (立正大) |
| 13 根 津 永 二 (愛知学院大) | 14 中 村 長 哉 (福岡女子短大) |
| 15 浅 野 哲 人 (オーストラリア国立大) | 16 井 上 智 之 ((財)尼崎地域産業活性化機構) |
| 17 欧 孝 明 (日本大) | 18 大 淵 寛 (中央大) |
| 19 西 山 司 (駒澤大) | 20 金 森 康 (兵庫県立大*) |
| 21 岩 井 浩 (関西大) | 22 川 崎 晃 央 (九州大*) |
| 23 宮 澤 一 志 (株DNPファシリティサービス) | 24 磯 村 孝 志 (愛知学院大) |
| 25 王 耀 鐘 (関西大) | 26 伊 藤 裕 一 (慶応義塾大*) |
| 27 比 嘉 堅 (沖縄国際大) | 28 古 賀 憲 和 (大阪市信用保証協会) |
| 29 内 藤 登 世 一 (京都学園大) | 30 堤 悦 子 (北海道商科大) |

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 31 浜野 崇好 | 32 齋藤 友秋 (東洋大) |
| 33 金箱 阜夫 (専修大) | 34 湧上 敦夫 (沖縄国際大) |
| 35 潘 志仁 (大阪観光大) | 36 今村 元義 (群馬大) |
| 37 藤本 建夫 (甲南大) | 38 荒井 久夫 (専修大*) |
| 39 松岡 隆二 (聖マリアナ医科大) | 40 佐藤 信之 (垂細垂大) |
| 41 鎌田 修 (中央大*) | 42 鱒澤 晃三 |
| 43 後藤 晃 (公正取引委員会) | 44 大政 憲一 (広島経済大) |
| 45 松村 彰 (同志社大) | 46 石川 照久 ((財)水道サービス) |
| 47 深谷 昌弘 | 48 大沼 穰 (大手前大) |
| 49 西岡 教明 (大阪産業大) | 50 羽原 敬二 (関西大) |
| 51 松下 幸生 (東洋大*) | 52 熊谷 彰矩 (青山学院大) |
- (以上52名)

③ 自然退会者

- | | |
|--|---|
| 1 岡嶋 宏明 (常磐大) | 2 北村 研一郎 (名古屋学院大) |
| 3 小林 勝 <small>(新潟福祉医療専門学
校)</small> | 4 鶴田 康二 (國學院大久我山高校) |
| 5 中村 秀一 (千葉経済大) | 6 崔 宗煥 (西南学院大) |
| 7 萩原 史朗 (兵庫県立大*) | 8 辻 隆司 (みずほ総合研究所) |
| 9 高斗甲 <small>(Mokpo National
University)</small> | 10 佐原 美弥 <small>(株DNPファシリテイ
サービス)</small> |
| 11 董建偉 (千葉商科大*) | 12 松井 守 <small>(メディアクルーズ
ジャパン)</small> |
| 13 山西 靖人 (中央大経済研究所) | 14 王 革 (広島市立大*) |
- (以上14名)

④ 所属・部会・変更・訂正 (50音順)

名前	旧所属	新所属	部会
あ. 青田 良紀	神戸大*	→ ㈱三井住友銀行	C
い. 伊ヶ崎 大理	熊本学園大	→ 日本女子大学家政学部	D → A
伊藤 佳世	千葉大 公共研究センター	→ 中部大 経営情報学部	A → B
石橋 尚平	神戸大	→ 大阪産業大 経営学部流通学科	C
和泉 徹彦	田園調布学園大	→ 嘉悦大 経営経済学部	A
伊勢 公人	中央大*	→ 中央大 経済学部	A
う. 上山 信一	慶応義塾大学・大阪市立大	→ 慶応義塾大	A
え. 戎野 淑子	嘉悦大	→ 立正大	A
お. 大槻 永広	日本通運㈱大阪ペリカン アロー支店	→ 日本通運㈱大阪支店 J P エクスプレス	C
大野 太郎	一橋大*	→ 財務省財務総合政策研究所	A
大野 正久	九州大*	→ 九州大	D
奥村 茂次	奈良産業大	→ 大阪市立大 名誉教授	C
越智 弘雄	千葉商科大*	→ 内閣府	A
か. 加藤 寛	慶應義塾大	→ 嘉悦大 学長	A
加藤 雅俊	一橋大*	→ 一橋大 経済研究所	A
春日 教測	神戸大	→ 近畿大	C
河村 朗	関西国際大	→ 西南学院大 経済学部	C → D

④ 所属・部会・変更・訂正 (50音順)

名前	旧所属	新所属	部会
あ. 青田 良紀	神戸大*	→ ㈱三井住友銀行	C
い. 伊ヶ崎 大理	熊本学園大	→ 日本女子大学家政学部	D → A
伊藤 佳世	千葉大 公共研究センター	→ 中部大 経営情報学部	A → B
石橋 尚平	神戸大	→ 大阪産業大 経営学部流通学科	C
和泉 徹彦	田園調布学園大	→ 嘉悦大 経営経済学部	A
伊勢 公人	中央大*	→ 中央大 経済学部	A
う. 上山 信一	慶応義塾大学・大阪市立大	→ 慶応義塾大	A
え. 戎野 淑子	嘉悦大	→ 立正大	A
お. 大槻 永広	日本通運㈱大阪ペリカン アロー支店	→ 日本通運㈱大阪支店 J P エクスプレス	C
大野 太郎	一橋大*	→ 財務省財務総合政策研究所	A
大野 正久	九州大*	→ 九州大	D
奥村 茂次	奈良産業大	→ 大阪市立大 名誉教授	C
越智 弘雄	千葉商科大*	→ 内閣府	A
か. 加藤 寛	慶應義塾大	→ 嘉悦大 学長	A
加藤 雅俊	一橋大*	→ 一橋大 経済研究所	A
春日 教測	神戸大	→ 近畿大	C
河村 朗	関西国際大	→ 西南学院大 経済学部	C → D

き.	北島 健一	松山大	→ 立教大コミュニティ福祉学部	C → A
	木下 信	京成大	→ 龍谷大 経済学部	C
く.	熊谷 要一	中央大*	→ ウォータールー大	A → E
	黒川 和美	法政大	→ 法政大 大学院 政策創造研究課	A
	桑名 謹三	法政大*	→ 環境自治体会議環境政策研究所	A
こ.	小林 俊哉	富山大	→ 富山大 地域連携推進機構	B
	小林 好宏	北海道武蔵女子短大	→ 北海道武蔵女子短大 名誉教授	A
	金野 和弘	岡山学院大	→ 島根県立大 総合政策学部	C
さ.	齊藤 由里恵	東洋大*	→ 徳山大	A → C
	阪口 健治	慶應義塾大	→ 鹿児島地域経済研究所	A → D
	櫻井 俊男	(株)櫻井会計センター	→ なし	D
	佐藤 純夫	(株)工業市場研究所 大阪事業所	→ (株)グリーンエコ 調査部調査課	C
し.	柴田 有祐	明治大	→ 武蔵野学院大	A
	神野 直彦	東京大	→ 関西学院大学	A → C
す.	菅 典雄	多聞式気功協会	→ 九州医療スポーツ専門学校	D
	菅田 詳	なし	→ 内閣府	A
	杉浦 立明	群馬工業高等専門学校	→ 拓殖大 政経学部	A
	鈴木 康豊	大阪大	→ 帝塚山大	C
た.	瀧澤 弘和	多摩大	→ 中央大	A
	田口 順等	大阪商業大アミューズメント産業研究	→ 大阪府立大 経済学部	C
	武田 昌彦	(株)アドバンスド・アイツ・マネジメン	→ (株)DNPファシリティサービス	A
	竹村 敏彦	関西大 経済・政治研究所	→ 関西大ソシオネットワーク戦略研究機構	C
	田渡 雅敏	(財)広島地域社会研究センター	→ もみじコンサルティング(株)	C
ち.	張 銘今	神戸大*	→ 台湾国立台中技術学院	C → E
と.	唐 牧	名古屋大*	→ 国際協議機構審査部	B → A
	富田 両太郎	九州大	→ 富田内科医院	D
な.	長屋 泰昭	大阪府立大	→ 大阪府立大 名誉教授	C
	中平 千彦	島根県立大	→ 諏訪東京理科大	C → A
に.	二宮 浩輔	九州共立大	→ 山梨県立大 国際政策学部	D → A
の.	野田 浩二	武蔵野大 人間関係学部環境学	→ 武蔵野大 環境学部	A
は.	馬場 勇一	(株)パシフィックコンサルタンツ インターナショナル	→ オリエンタルコンサルタンツ(株)	A
	萩原 貞暁	なし	→ (社)鹿児島県自動車整備振興会	D
	原田 三喜雄		→ 西南学院大 名誉教授	D
ひ.	廣松 毅	東京大	→ 情報セキュリティ大学院	A
ふ.	福永 肇	三井住友銀行 業務監査部	→ 藤田保健衛生大 医療科学部	A
	藤井 英志	なし	→ (株)日本アスペクトコア	C
	藤田 輔	立教大*	→ OECD日本政府代表部	A → E
ほ.	星川 順一	大阪経済法科大	→ なし	C
ま.	松水 征夫	広島大	→ 広島経済大 経済学部	C
	増田 幹人	東洋大	→ 内閣府	A
み.	水谷 守男	鹿児島国際大	→ 福岡大 名誉教授	D
	宮下 量久	法政大*	→ (株)PHP総合研究所	A

わ. 渡部 和男	外務省	→ 在パラグアイ日本国大使館	E
渡辺 潤爾	名古屋大*	→ 名古屋大	B

大学名*は学生会員

⑤ 平成20年度新会員

名前	所属	推薦者	部会
1 村田 省三	長崎大	今泉 博国/秋山 優	D
2 館 健太郎	駒澤大	浅野 克巳/飯田 泰之	A
3 中野 牧子	名古屋大 環境学研究科	柘植 隆宏/水田 健一	B
4 松前 龍宣	東京工業大 研究員	浅野 克巳/飯田 泰之	A
5 岡田 修一	神戸大 経済学研究科 研究員	山口 三十四/衣笠 智子	C
6 村田 慶	九州大 大学院	大住 圭介/三浦 功	D
7 嶋崎 善章	秋田県立大	河村 朗/阿部 公一	A
8 高松 慶裕	早稲田大 大学院	嶋村 紘輝/横山 将義	A
9 澁澤 洋	立教大 大学院	松本 和幸/谷口 洋志	A
10 本田 光	広島大 大学院	上田 良文/野本 了三	C
11 宮本 章史	京都大 大学院	植田 和弘/西村 周三	C
12 岩本 千晴	中央大 大学院	横山 彰/松本 保美	A
13 東 愛子	京都大 大学院	植田 和弘/川勝 健志	C
14 渡辺 正	明治大 大学院	藤永 修一/中村 文隆	A
15 姜 紅祥	龍谷大 大学院	松岡 憲司/井口 富夫	C
16 野呂 拓生	(財)東北開発研究センター	小柴 徹修/栗山 規矩	A
17 西原 鷹一	広島大 大学院	上田 良文/野本 了三	C
18 浅川 晃広	名古屋大 国際開発研究科	荒山 裕行/土井 康裕	B
19 木下 裕美子	東京大 大学院	田中 秀幸/松本 保美	A
20 石川 英文	東洋大 大学院	益田 安良/澁澤 健太郎	A
21 南 海龍	東洋大 大学院	益田 安良/山谷 修作	A
22 廣野 博和	オリオン書房	松本 保美/荒木 一法	A
23 和田 耕治	嘉悦大	加藤 寛/福島 久一	A
24 葛西 正裕	愛知学院大 商学部	酒井 邦雄/吉田 雅彦	B
25 TALUKDER ALI REZA	愛知学院大 大学院	酒井 邦雄/吉田 雅彦	B
26 李 大義	愛知学院大 大学院	酒井 邦雄/吉田 雅彦	B
27 SUSIRI WEERASINGHE	愛知学院大 大学院	酒井 邦雄/吉田 雅彦	B
28 内野 善之	㈱アイ・エム・ティ・チーフ クリエイト	徳田 賢二/田中 隆之	A
29 長屋 真季子	京都大 大学院	植田 和弘/前田 章	C

計29名

3 訃報

次の会員につきましてお届がありました(平成21年6月以降)
ご冥福をお祈り致します。

・熊田 禎宣 ・小島 清 ・桜井 等至

日本経済政策学会 平成20年度 決算書

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:円)

収 入			支 出		
摘 要	20年度予算	決算案	摘 要	20年度予算	決算案
前年度繰越金	*8246060	8,246,060	大会費	2,100,000	2,100,000
学会誌回転基金	4,000,000	4,000,000	国際会議費	1,500,000	1,500,000
新規事業積立金	3,000,000	3,000,000	部会費	540,000	540,000
予備費	1,246,060	1,246,060	関東部会	150,000	150,000
会費	11,123,000	11,252,000	中部部会	120,000	120,000
個人	10,373,000	10,502,000	関西部会	150,000	150,000
団体	150,000	150,000	西日本部会	120,000	120,000
賛助	600,000	600,000	委員会費	370,000	66,100
利息等	10,000	7,581	組織委員会	0	0
第65回全国大会から			国際交流委員会	50,000	32,000
返金	0	0	出版編集委員会	120,000	34,100
大学からの補助金	50,000	0	企画委員会	100,000	0
雑収入	0	**50,000	研究開発委員会	100,000	0
			学会誌刊行費	4,000,000	2,623,119
			学術会議研究連絡費	0	0
			学会連合分担金	35,000	35,000
			本部事務費	2,500,000	3,698,709
			事務諸費	1,800,000	2,224,884
			印刷費	100,000	513,173
			通信費	200,000	236,136
			会議費	400,000	724,516
			学会賞諸費	150,000	54,805
			名簿・選挙積立金	600,000	600,000
			小 計	11,795,000	11,217,733
			次年度繰越金	7,634,060	8,337,908
			学会誌回転基金	4,000,000	4,000,000
			新規事業積立金	3,000,000	3,000,000
			予備費	634,060	1,337,908
総 計	19,429,060	19,555,641	総 計	19,429,060	19,555,641

*平成21年度予算案の数字に誤りがあった為

平成19年度決算額に訂正

** 雑収入の50,000は平成19年度組織委員会費
の返金

上記の通り相違ないことを確認しました

平成21年5月29日

上田 良文

前田 俊一

選挙名簿積立基金 平成20年度決算書 (平成20年4月～平成21年3月)

(単位：円)

収 入		支 出	
平成19年度繰越金	600,000		
一般会計より入金	600,000		
利息	1,053	平成20年度繰越金	1,201,053
合 計	1,201,053	合 計	1,201,053

上記のとおり相違ないことを確認しました。

平成 21 年 5 月 2 日

会 計 監 事 上田 良文
黒柳 達夫

国際会議積立基金 平成20年度決算書 (平成20年4月～平成21年3月)

(単位：円)

収 入		支 出	
繰越残高	2,015,054	国際会議費	1,500,000
国際会議費	1,500,000	振込手数料	840
利子	2,510		
振込手数料	1,680	繰越金	
国際会議費返金	87,516	一般会計へ移行	87,516
		平成20年度繰越金	2,018,404
合 計	3,606,760	合 計	3,606,760

注：振込手数料(840円)の処理(本来は一般会計から支出)は平成20年度会計に組み込んで
次年度繰越金2,018,404円

上記のとおり相違ないことを確認しました。

平成 21 年 5 月 2 日

会 計 監 事 上田 良文
黒柳 達夫

常務理事会報告

日時：2009年9月6日(日)13:00～17:00

会場：早稲田大学(西)早稲田キャンパス9号館507会議室

I 常務理事会 議題

1. 規約・制度の改正(谷口組織委員会委員長)

総会で承認された規約制度改正の確認がされた。

団体会員の「会費支払い停止」にともなう措置について、松本会長と谷口組織委員長から説明があり、谷口組織委員長から、「今年度にかぎり、団体会員としての諸サービスを停止し、来年度会費が納入されない場合、退会とする。なおこの措置は例外扱いとし、明文化はしない」との提案がなされた。この意見をふまえ、次のように対処することが承認された。「団体会員に関する諸規定について再検討をすすめる。当面は、未納状態(ジャーナルは送付せず、ニューズレターは送付)として扱う」

なお、上記の方針を相手側に伝えたところ、従来通り、会費を払い、会員を継続することになった。

2. 全国大会関連の案件

a) 第66回全国大会

小柴徹修(東北学院大学)準備運営委員会副委員長より業務完了報告があり、了承された。

a) 次期全国大会

a-1) 委員会構成

基本的に第66回大会の形式と同様の体制で臨むことで了承。

準備・運営委員会

京都産業大学の会員を中心とし、従来慣行に従って人員を決定する。

プログラム委員会

山本盤男(九州産業大学)研究開発委員長をプログラム委員長とすることで了承された。山本委員長からプログラム委員会メンバー構成20名、運営委員会ならびに運営委員長(案)が説明された。この中に小柴徹修理事を加えることで了承された。

a-2) 全国大会のテーマ

山本委員長からその骨格および今後の予定の提案・説明があり、また、丸谷(常務理事)から開催校がもつ制約(交通手段等)、共通論題詳細について補足説明があり、提案のとおり承認された。

丸谷(常務理事)からプログラム委員会のより明確な制度化を検討すべきであるという提案がされた。

ポスターセッション募集の可否が検討された。今回の結論として、できるだけポスターセッションと口頭報告を同等に扱うことを前提に、ポスターセッション導入については研究開発委員会、企画委員会ならびに編集委員会の詳細を検討すること、および67回大会では採用しないことが承認された。

b) 2010年度以降の大会開催校

・2012年度は、相山女学園大学で開催することが了承された。

昨年の総会で了承された大会開催校は以下の通り。

・2010年度 京都産業大学

・2011年度 駒澤大学

3. 国際会議関連

a)2009年度国際会議(東京)の進捗状況

佐々木大会委員長から概要が報告された後、荒山プログラム委員長から詳細が説明された。

「学会会員にたいし、参加費割引を検討してほしい」という要望があり、今後の検討課題とすることが承認された。

会場:国立大学財務・経営センター(竹橋)。

日程:2009年11月28、29日。

b)2010年度国際会議(早稲田大学)の進捗状況

細目で未確定の部分があるが、ほぼ以下の線です承された。

会場:早稲田大学 国際会議場

テーマ:Expanding Interdisciplinary Frontiers of Economics and Business:

Business Management in Globalizing World and Economic Policy Coordination

開催方式:従来通り。

(当初、B&ESI(Business & Economics Society International)との共催であったが、昨今の経済事情により、先方より断ってきたので、従来通りの開催となる。総会で了承。)

大会期間:11月27日(土)、28日(日)

(当初案、大会期間5日:11月26日~30日)を上記のように変更。B&ESIが共催を降りたことに依る。)

参加費:検討中

招聘者:現在検討中。

d)2011年度以降の開催校(2008年度承認)

2011年度:関西学院大学

2012年度:未定

4. 学会賞選考結果の説明・承認

水谷学会賞委員会副委員長(丸谷学会賞委員会委員長代行)より、2009年度学会賞の選考結果、講評が行われ、了承された。

応募論文の少なさにたいして、どのように対処すべきか検討すべきであると指摘された。これに対し、「メールで案内を回した方が効果的ではないか」、「受賞者には翌年の大会であらためて報告してもらおうと認知度があがるのでは」という意見が出された。

5. 役員選挙の実施

松本会長から、役員選挙の実施スケジュールならびに名簿作成の方針が提案され、一部修正の上、承認された。

6. 本部事務局

松本会長から、本部事務局として業務遂行上の問題点が説明され、各部会についても同様の問題点整理をお願いしたい旨、要望があった。

また、学会活動情報を定期的にメールで配信することで、会員に対するサービスを強化するとともにアドレス確認をおこなうため、今後、より高い頻度で会員にたいしメール配信を行いたいとの報告があった。

7. その他

松本会長より、
10月にウェブサイトの刷新
12月より月1回程度のペースでメール配信を試験的に運用開始
が提案され、了承された。

II 各委員会開催

常務理事会終了後、出席者間で、各委員会の会合が持たれた。

学会賞(2009年度)

本年度は2名の会員から学会賞への応募があり、選考委員会で審査した結果、学会賞、研究奨励賞共に該当無しとの報告を了承した。

国際会議(2009年度)開催記録

第8回国際会議 (The 8th JEPA International Conference)

1. 日時:2009年11月28日(土)、29日(日)
2. 場所:国立大学財務・経営センター(東京・竹橋)
3. テーマ:”The Financial Crisis and Economic Depression:
Tasks of Economic Policies in Simultaneous Slowdown of the World Economy”
4. 大会運営委員長 佐々木實雄
5. 招聘者:Subiyantoro, Heru (Ministry of Finance, Indonesia), Sogano, Hidehiko (Bank of Japan), Thorbecke, Wilem (George Mason University & ADB Institute, USA), Kim, Inchul (Sungkyunkwan University, Korea), Teranishi, Juro (Nihon University)

全国大会・国際会議(2010年度)のご案内

第67回全国大会

1. 日時:2010年5月29日(土)、30日(日)
(過日、全国大会運営委員会から送付された案内に誤植がありました点、お詫び申し上げます。上記が正しい日程です。)
2. 場所:京都産業大学
3. 大会テーマ:グローバル時代における国際協調を考える
4. 大会準備・運営委員長 柿野 欽吾
5. プログラム委員長 山本磐男 常務理事

第9回 国際会議 (The 9th JEPA International Conference)

1. 日時:2010年11月27日(土)、28日(日)
2. 場所:早稲田大学 国際会議場
3. テーマ:” Expanding Interdisciplinary Frontiers of Economics and Business:
Business Management in Globalizing World and Economic Policy Coordination”
4. 大会運営委員長 未定
5. 招聘者:未定

本部事務局からのお願い

会費振込に関するトラブル回避の件

平成21年1月5日より、ゆうちょ銀行・全国銀行間での振り込みが可能となりました。そのため、会費が他の銀行の口座から当学会のゆうちょ銀行口座へ直接振り込まれるケースが増えております。会員個人の口座からの振り込みには問題ありません。しかし、勤務先から一括して振り込まれる場合、振り込んだ勤務先名しか記載されず、どなたの会費なのか特定できません。本部ではその都度勤務先に電話で問い合わせていますが、「個人名は応えられない」という回答が増えております。そのため、本部での確認事務処理量が急増しております。現在までのところ、重大な問題は発生しておりませんが、来年度はこの振込制度がより一般化すると予想され、最悪の場合、どなたの会費であるか特定できなくなる可能性があります。そこで、会費の入金に関しては、(自動引き落とし制度をご利用されている方以外は)会員各自が、本部よりお送りするゆうちょ銀行の振込用紙を用いるか、もしくはご自分の口座から郵貯銀行へ振り込むかのいずれかで処理されるよう極力お願い申し上げます。また、勤務先から一括で振り込まれた場合は、その旨をメールでご連絡ください。

日本経済政策学会本部・部会事務局連絡先

本部事務局

〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1-6-1
早稲田大学政治経済学部 気付
Tel 03-5286-2193 (事務局)
Fax 03-5286-2193 (事務局)
Tel 03-5286-1206 (松本研究室)
E-mail jepa-mail@list.waseda.jp

関東部会事務局

〒192-0393 八王子市東中野 742-1
中央大学総合政策学部 気付 (横山 彰)
Tel 0426-74-4111 (学部事務局)
0426-74-4148 (横山研究室)
Fax 0426-74-4118
E-mail yokoyama@fps.chuo-u.ac.jp

中部部会事務局

〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池 12
愛知学院大学商学部 気付 (酒井 邦雄)
Tel 0561-73-1111 (学部事務局)
Fax 0561-73-9305 (学部事務局)
Tel 0561-73-1111 (内 3640) (酒井研究室)
E-mail sakaik@dpc.aichi-gakuinn.ac.jp

関西部会事務局

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1
神戸大学大学院経済学研究科 気付 (田中 康秀)
Tel 078-803-6854 (大学院事務局)
Fax 078-803-7293 (大学院事務局)
Tel/Fax 078-803-6803 (田中研究室)
E-mail tanaka@econ.kobe-u.ac.jp

西日本部会事務局

〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1 (杉野 元亮)
福岡大学経済学部 気付 (宮本昌典 宛て)
Tel 092-871-6631 (代表) Fax 092-864-2904
今泉 博国 (内線 4224)
宮本 昌典 (内線 4223)
E-mail masanori@fukuoka-u.ac.jp

ホームページ:<http://wwwsoc.nii.jp/jepa/indexj.html>